

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【公開番号】特開2020-2881(P2020-2881A)

【公開日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-001

【出願番号】特願2018-123366(P2018-123366)

【国際特許分類】

F 04 B 23/06 (2006.01)

F 04 B 1/16 (2006.01)

【F I】

F 04 B 23/06

F 04 B 1/16

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月8日(2020.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

請求項1記載の液体供給装置において、

前記流路開閉弁は、電磁弁である液体供給装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。液体供給装置10は、液体容器11内の液体Lを塗布ノズル等の塗布具12に供給するために使用される。液体供給装置10は、直方体形状のポンプブロック13を有している。ポンプブロック13は6つの面を有しており、図1において左側の面を正面14aとし、反対側面を背面14bとし、下側の面を下端面14cとし、上側の面を上端面14dとする。図3において左右の面を側面14e、14fとする。正面14aと背面14bは平行であり、下端面14cと上端面14dは平行であり、正面14aは下端面14cに対して直角である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

ゴム製の弁部材45が弁駆動レバー43に設けられており、弁部材45とポートプレート36とにより液体流路46が形成される。流入孔47と流出孔48がポートプレート36に形成され、流入孔47と流出孔48は液体流路46により連通される。流入孔47は第1の吐出流路26に連通され、流出孔48は第2の吸入流路27に連通される。開閉部49が流出孔48に対応して弁部材45に設けられており、開閉部49は流出孔48を開閉する。コイルばね51が揺動アーム41の基端部と弁駆動レバー43の一端部との間に

配置され、コイルばね 5 1 は開閉部 4 9 が流出孔 4 8 を開く方向のばね力を弁駆動レバー 4 3 に加える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

図 8 に示されるように、流路開閉電磁弁 3 3 と吸入側の電磁弁 5 4 b と吐出側の電磁弁 6 1 b がポンププロック 1 3 の正面 1 4 a 側に配置されると、それぞれの電磁弁の交換等のメンテナンスを容易に行うことができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10】

図 10

